

その身体からだで

シスター  
修道女は

無理無理ででししよよ

転載禁止

DO NOT REPOST

無断転載・複製・複写  
Web上へのアップロード禁止

R18  
ADULT ONLY

18歳未満閲覧禁止



# ご注意

この作品には  
ふたなり表現が含まれます。

この漫画はシリーズものです。  
本作品単体でもお楽しみいただけますが、  
前作と合わせてお読みいただくと、より世界観が  
楽しめます。



とある街外れの  
魔女の家

これが  
頼まれていた  
ものよ

ホ



ほぼ完全に再現  
できているとは言え

術式としては  
まだ不完全よ

ええ充分です

感謝します



ご心配なく

全ては愛のため



…大丈夫なの？

…というと？

貴女サマほどの  
方が魔女と取引  
だなんて

バレたらスキヤンダル  
どころの話じゃ  
ないでしょう？



愛する人  
一人救えぬものに

聖女を名乗る  
資格はありませんので



明日は満月

良い夜に  
なりそうですね

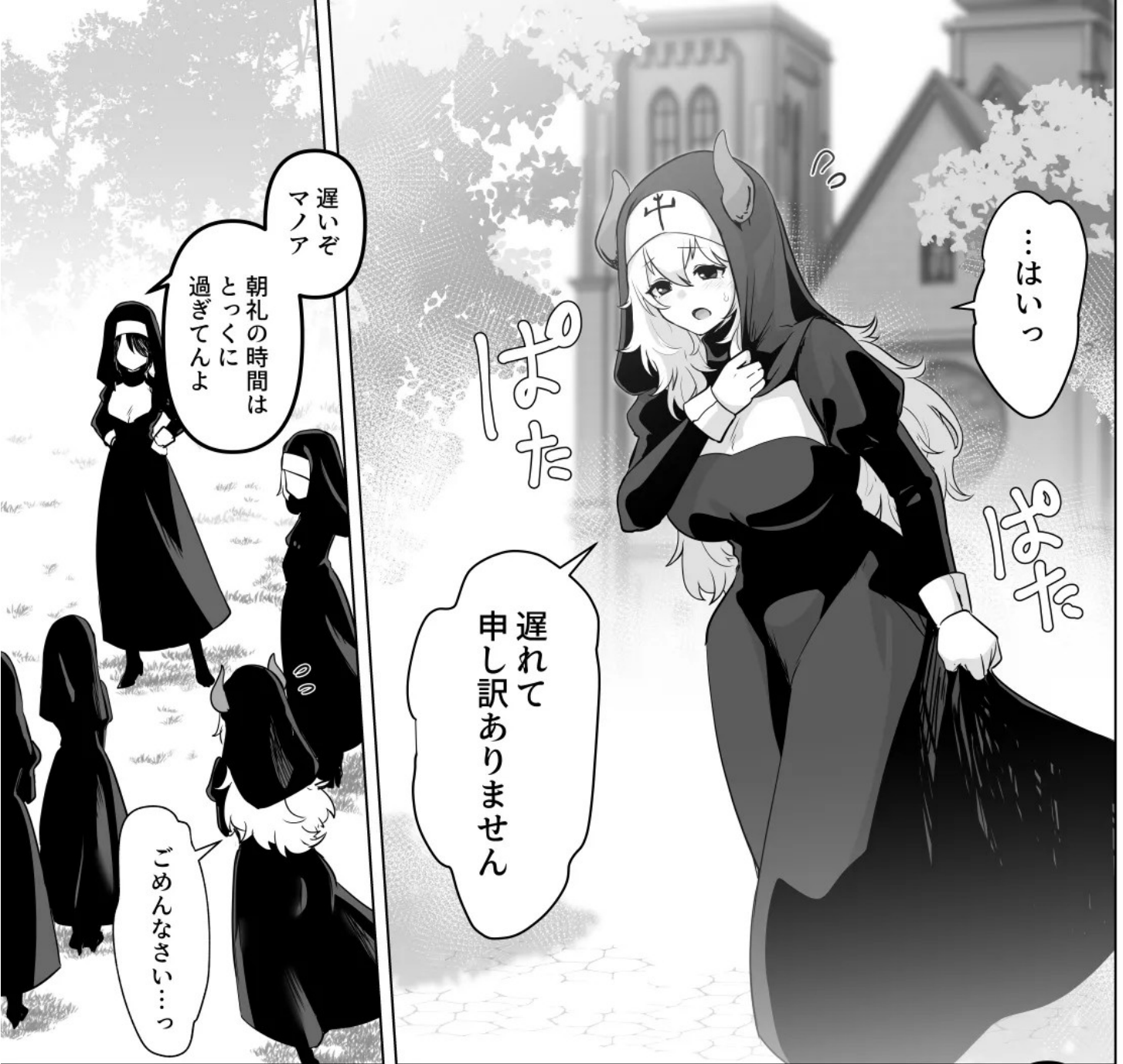


東の古教会

444...

マノア

マノア!





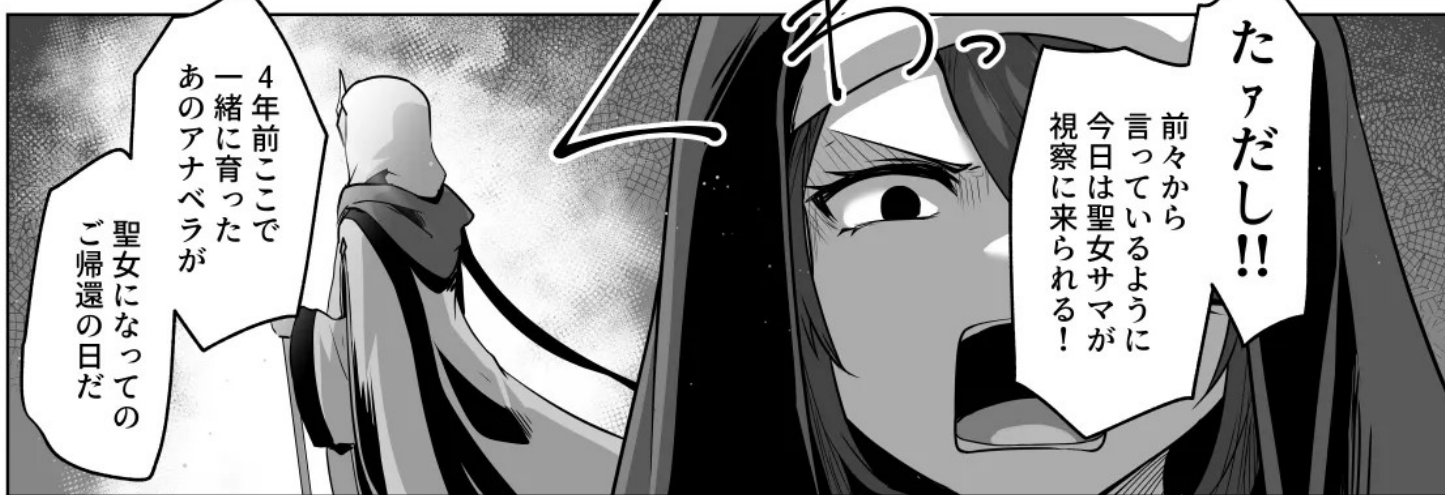
別に責めてるわけじゃねえ

お前みたいな魔物は満月が近づくほど

欲求を抑えられなくなることはみんな知ってる

こんなド田舎の教会だ

誰も気にしちゃいねーよ



たァだし!!

前々から言っているように今日は聖女サマが視察に来られる!

4年前ここで一緒に育ったあのアナベラが

聖女になってのご帰還の日だ



聞いたか  
持ち場につけ  
コラァ!!

オス!!

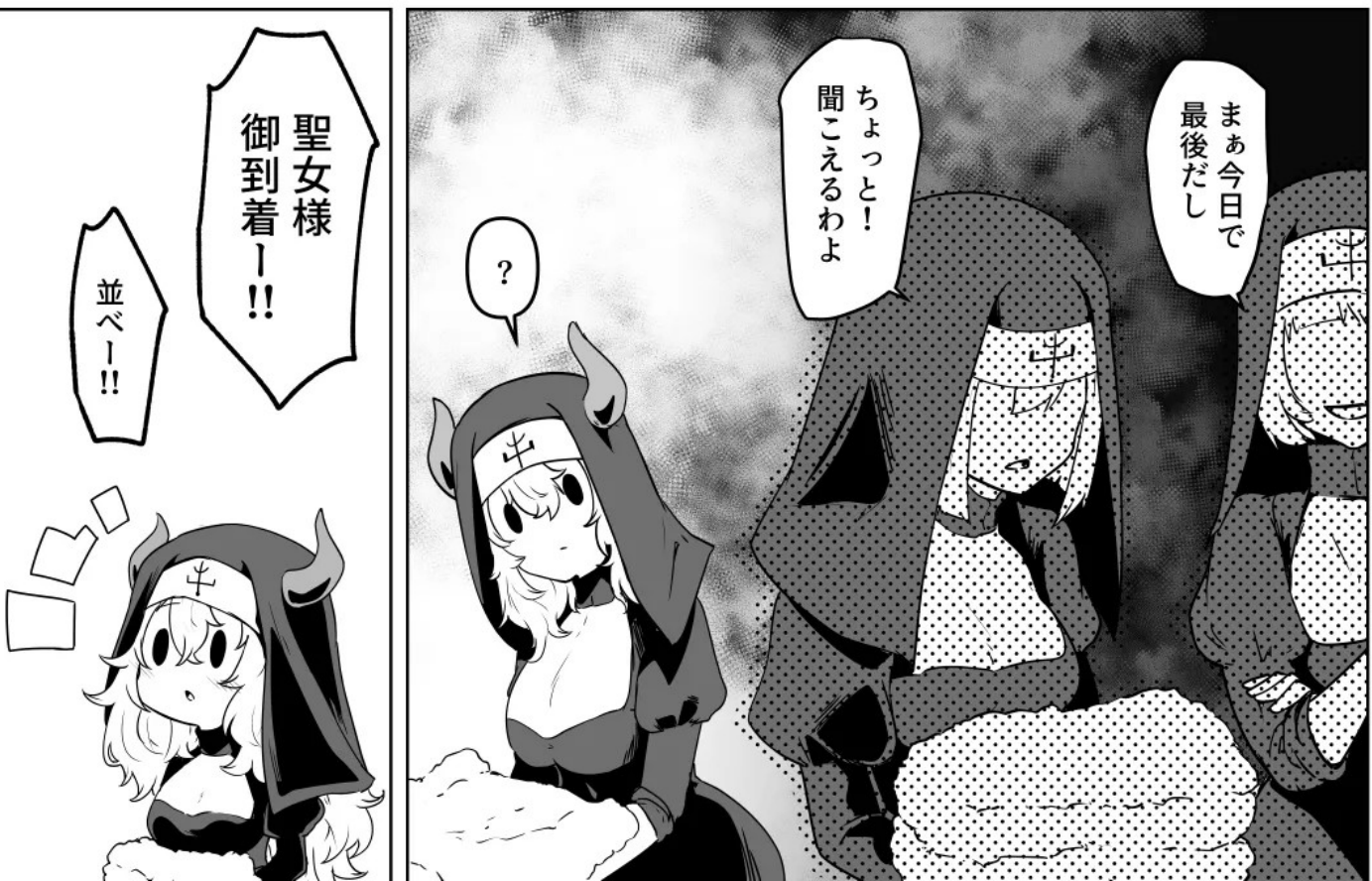
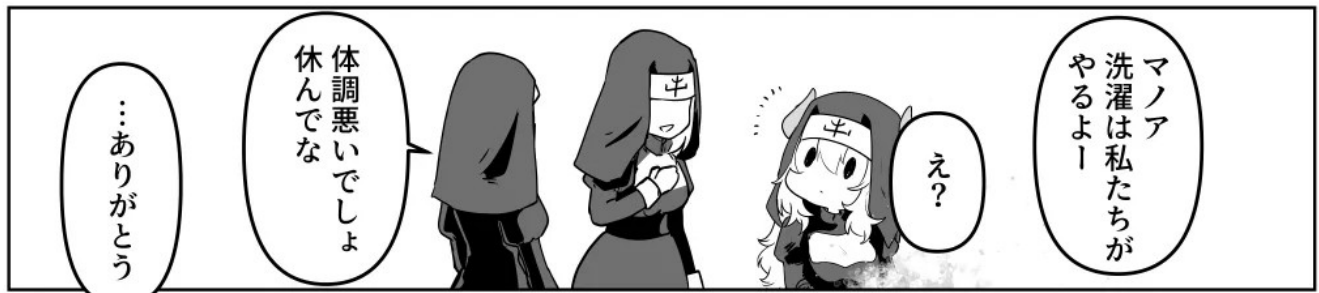


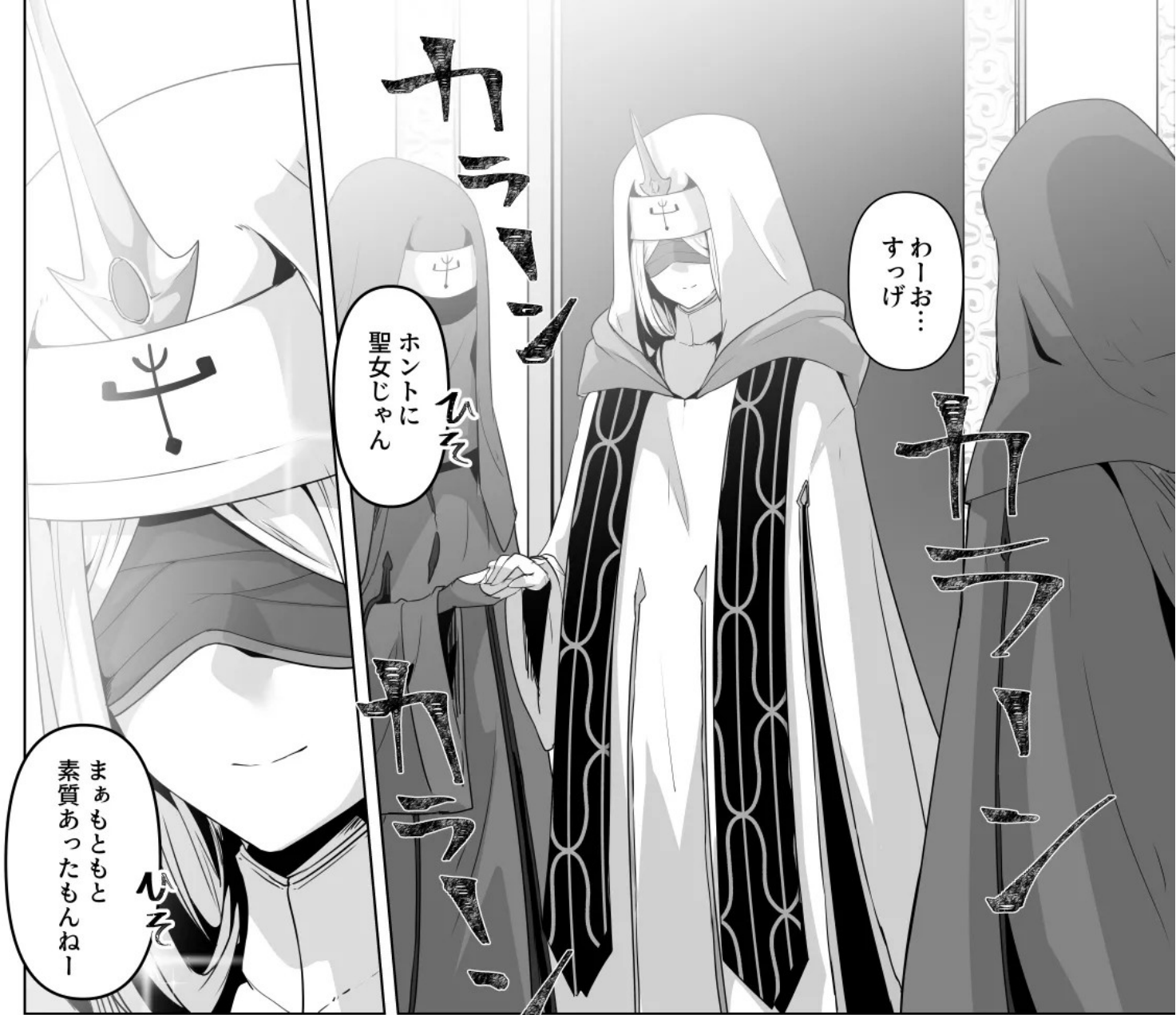
おめーら全員粗相があったらぶつ殺すからな!

オス!!

聖女様御一行

間もなくご到着とのこと





わーお…  
すっげ

ホントに  
聖女じゃん  
ひそ

まあもともと  
素質あったもんねー  
ひそ



出迎え  
傷み入ります

敬語は  
よしてください  
先輩

ようこそ  
聖女様  
長旅  
お疲れ様でした

あーちゃん  
凄い綺麗

わあ…



して、手紙の件は了承して頂けたという事でよろしいのですか？

ええ  
今日はそのために来ました

あとは  
手筈通りに

4年前

初めまして

素敵なツノですね

え…？

私はアナベラ

今日から  
貴方と同じ  
見習いシスターです

よろしく  
お願いしますね

アーちゃんは  
天才だった

もともとここに来る前も  
とても難しい学校で  
勉強していたらしいけれど

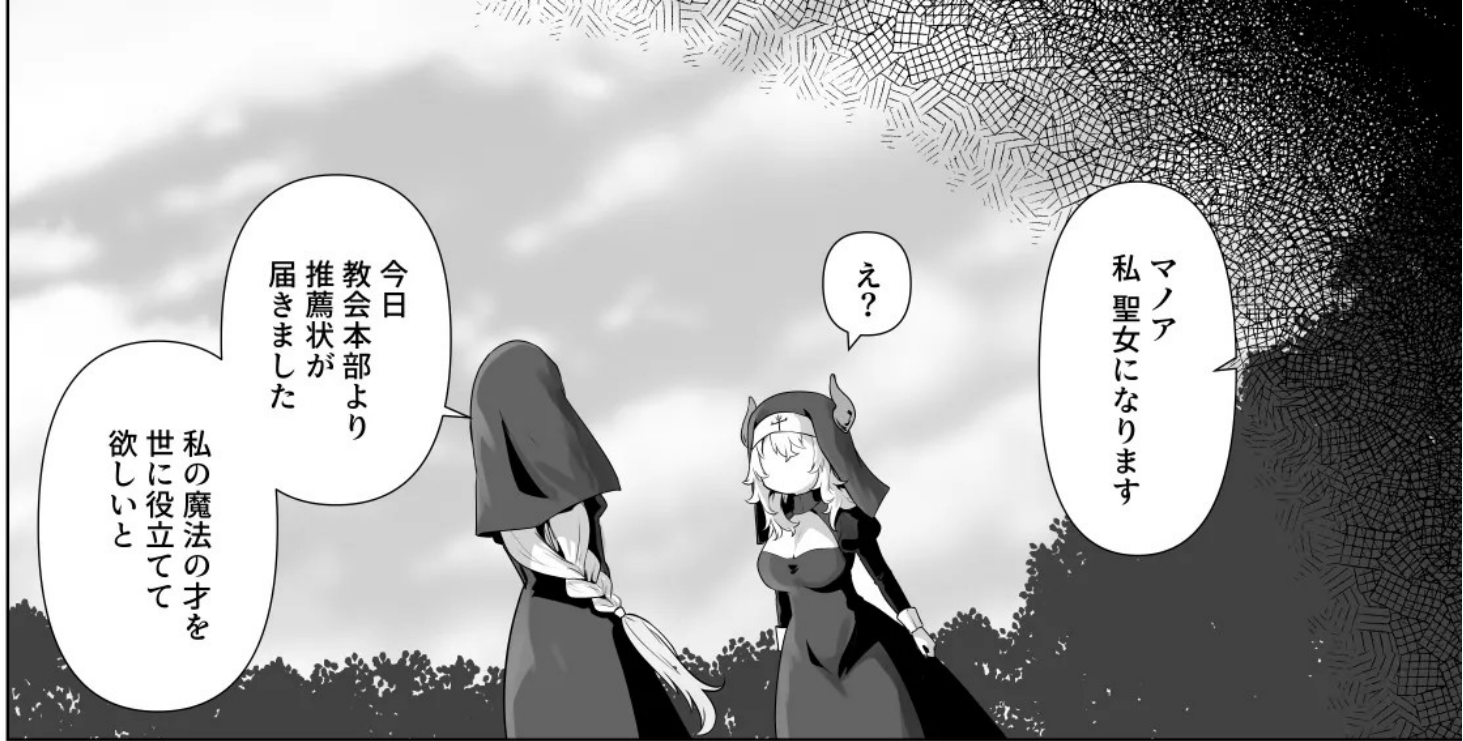
おせんたく  
しまーす

特に魔法の  
才能は  
本当に凄くて

私はあつという間に  
おいていかれちゃった

そんな私にも  
いつも優しく  
接してくれた

私の憧れの人



マノア  
私聖女になります

え？

今日  
教会本部より  
推薦状が  
届きました

私の魔法の才を  
世に役立てて  
欲しいと



聖女になって  
必ず

あなたを  
自由にします



…？

その時の私には  
よくわからなかった  
けれど

う…うん

私も…

聖女になった  
アーちゃんの  
隣で支えられるように

立派なシスターに  
なるね！



そのはず  
だったのだけれど



身体が  
成熟するにつれ

魔物としての欲求を  
抑えるのが難しく  
なっていた



あーちゃんとの  
約束が…

じゃないと…

清くありたい  
のに…

清くありたい

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ



ガッ  
ガッ

ガッ

まっ

ガッ  
ガッ



どうか  
お慈悲を

うう…  
どうか…



満月の  
せいじやない

私の意志が  
弱いからだ



せめて…  
アーちゃんの前では

粗相のない  
ようにしないと

…ア  
マノア



はー♡

はー♡

こんなんじや…  
幻滅されちゃう



えと…  
聖女様もお元気そうで…

は、はい！



マノア

久しぶり  
ですね

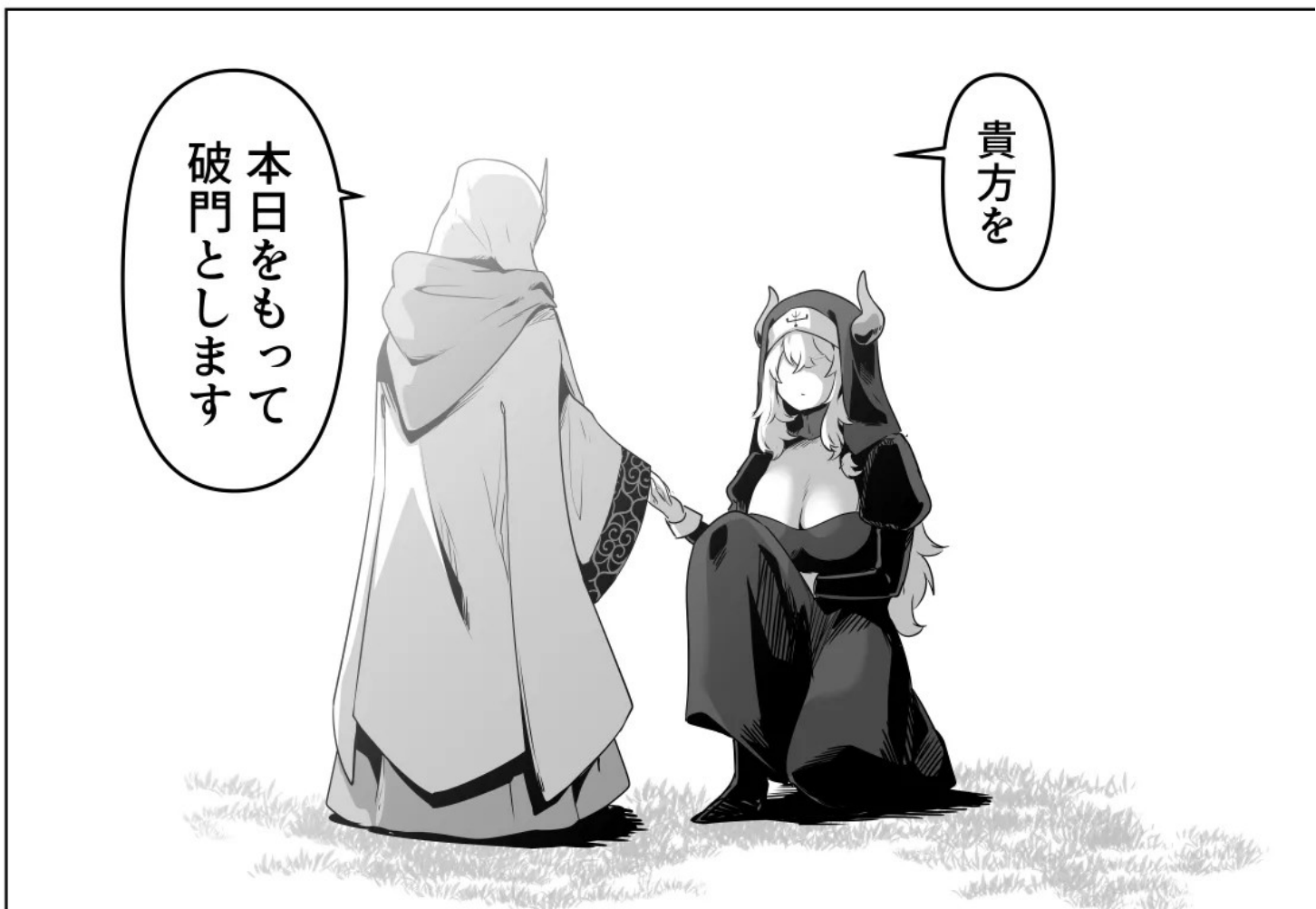
変わり  
はない  
ですか？



それは何より

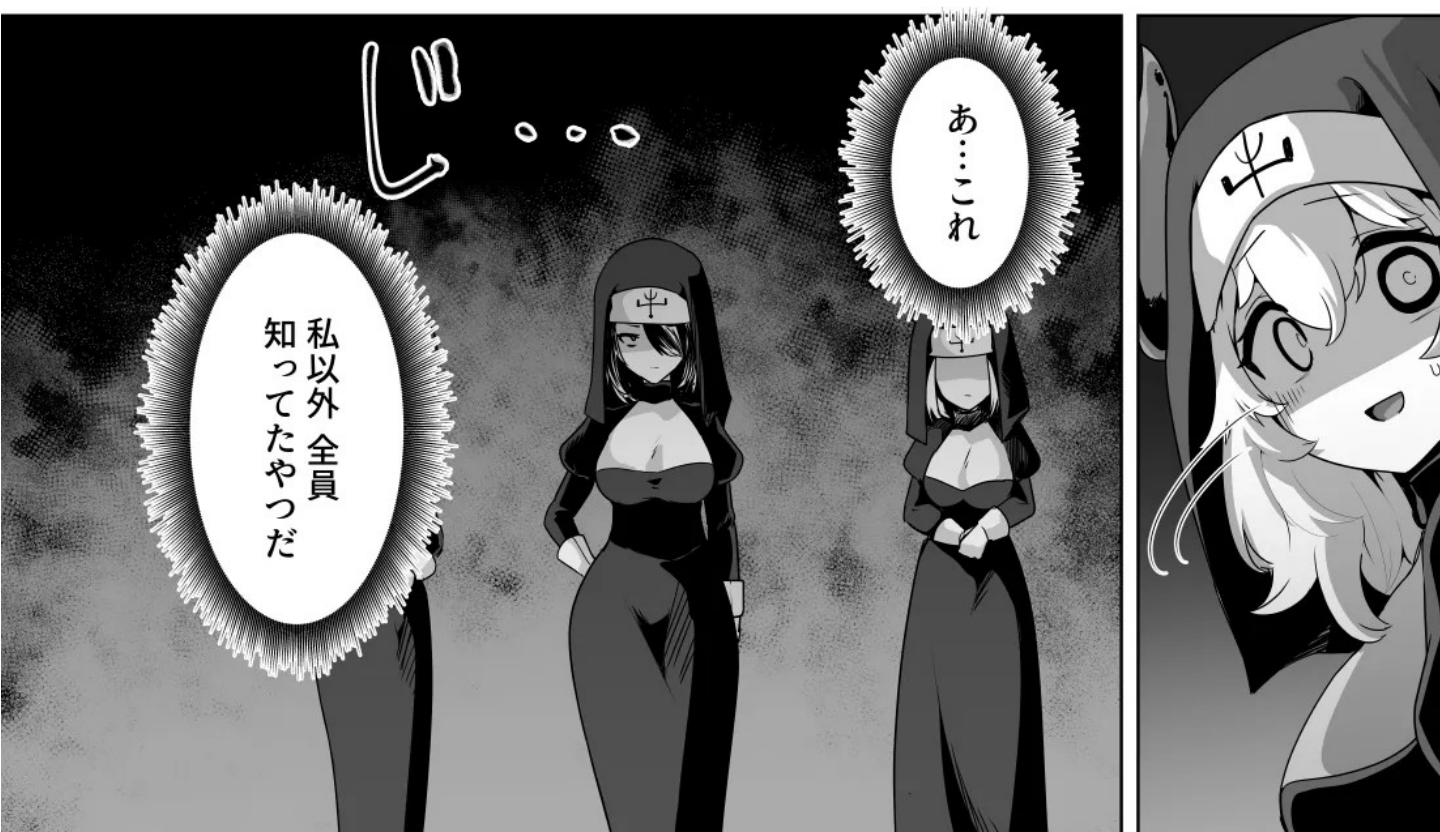
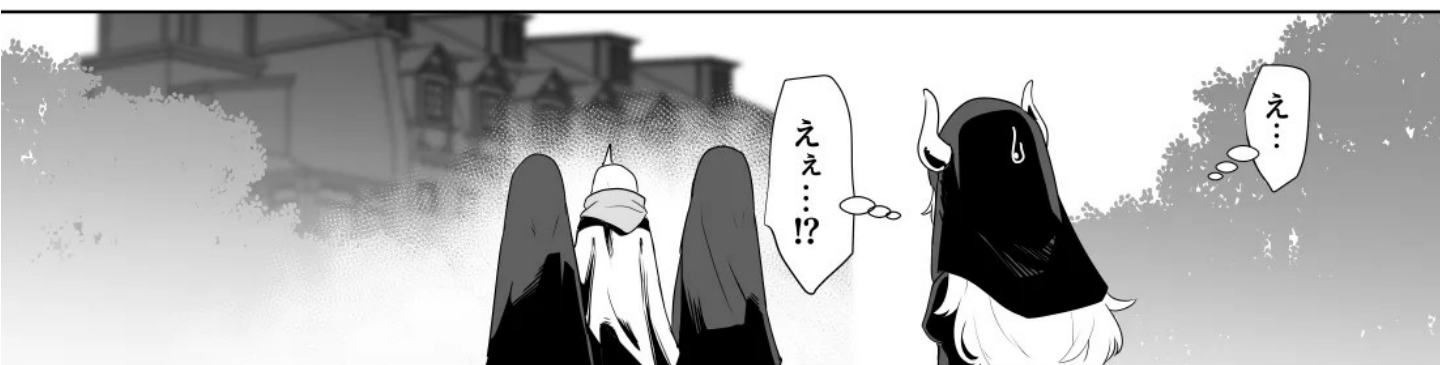
実のところ  
今日は貴方に  
伝えることがあり  
ここに来たのです

…え？



貴方を

本日をもって  
破門とします





思考が  
定まらない

寄りにもよって  
満月の夜に

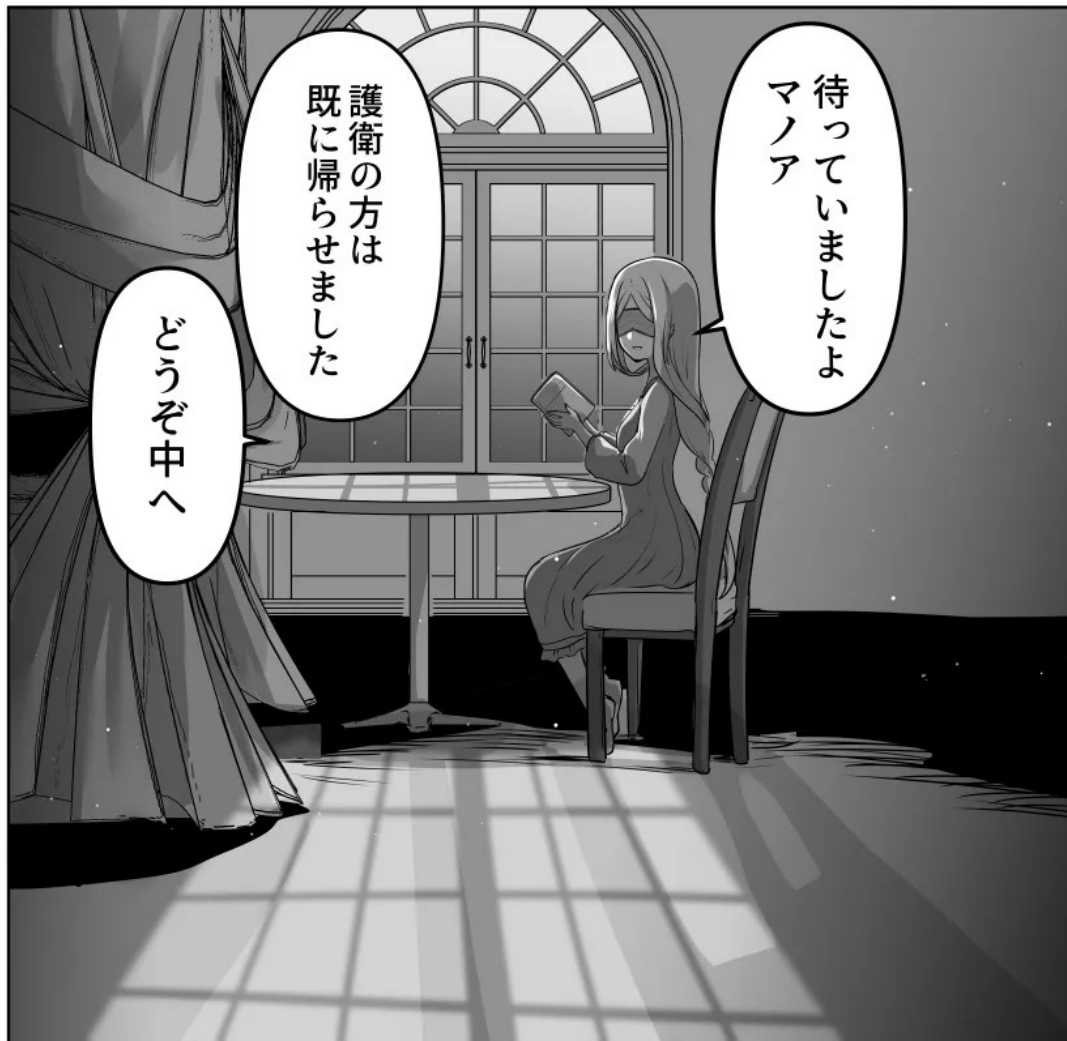
なんとかか  
なんとか  
弁明しないと



理由は  
わかってる…



聖女様…



待っていましたよ  
マノア

護衛の方は  
既に帰らせました

どうぞ中へ



今一度  
私に機会を  
頂けませんか

どんな  
お叱りも  
受けます

どれだけ  
苦しい罰も  
耐えて見せます

だから  
どうか破門  
だけは…



半月ほど前 先輩から  
手紙を受け取りました

貴方が魔物としての  
本性を日に日に  
抑えられなくなって  
きていると

知ってしまった以上  
聖女として貴方を  
裁かねばなりません

そんな…



貴方はもはや  
信徒ではない

神も教えも

何もあなたを  
縛りはしない

むしろ私は  
嬉しいのです

ギンギン



これで  
ようやく

貴方を  
私のモノに  
できるのだから

…え

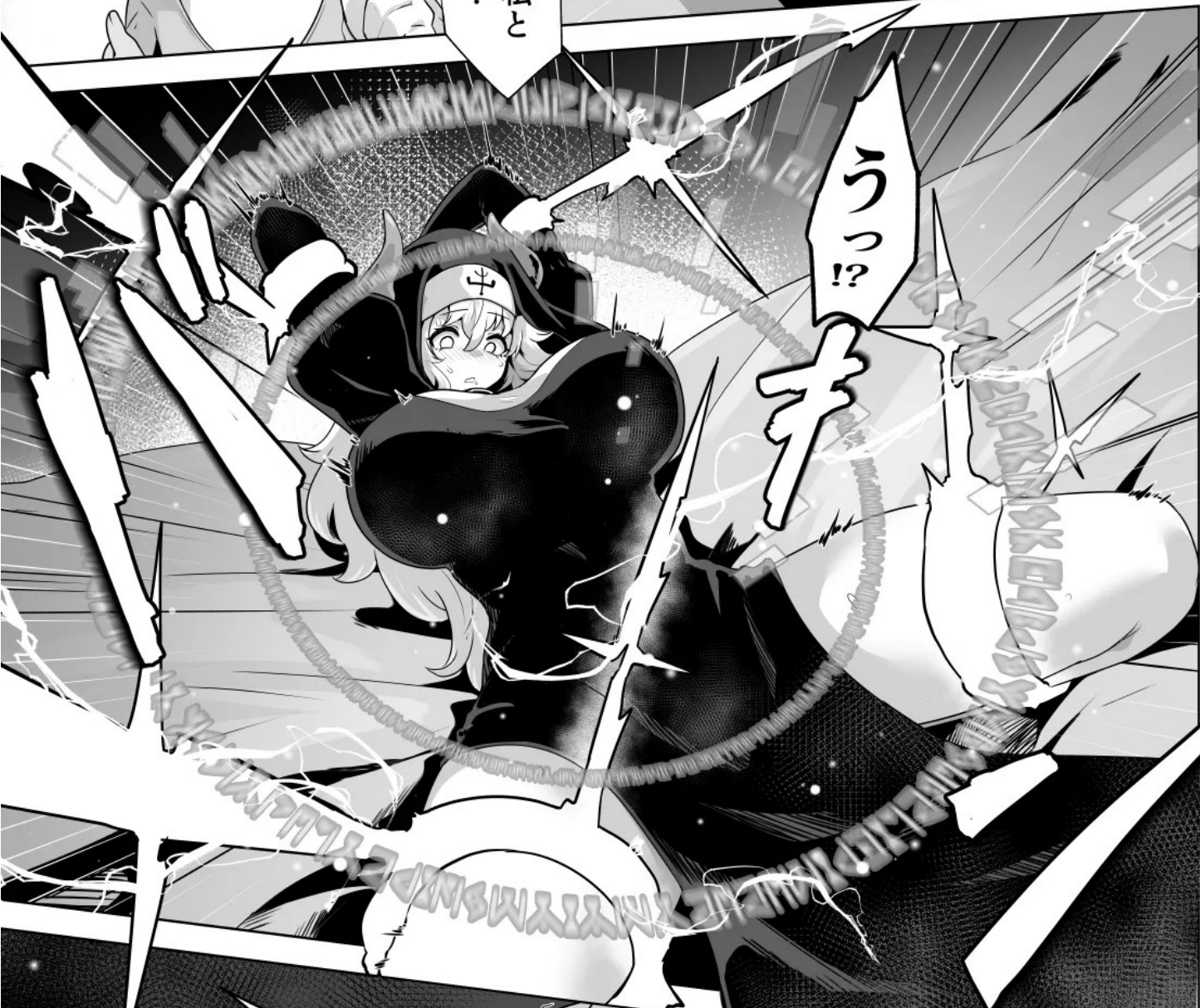


!?

♡  
ちゅっ♡  
♡

♡  
ちゅっ♡

あっ





私は私の手で  
貴方を墮とし  
教会から  
去らせるとします



では耐えて  
見せなさい

この月夜の  
明かりのもと

貴方の清さを  
証明する機会を  
あげましょう



肉欲に  
素直になりなさい

もう良いのですよ  
マノア  
私が許します

じゃあ...





まだ出会って  
間もない、あの夜を  
思い出しますね

あの満月の夜  
あなたはひどく  
体調が悪そうで

誰にも気づかれぬよう  
教会を出ていった

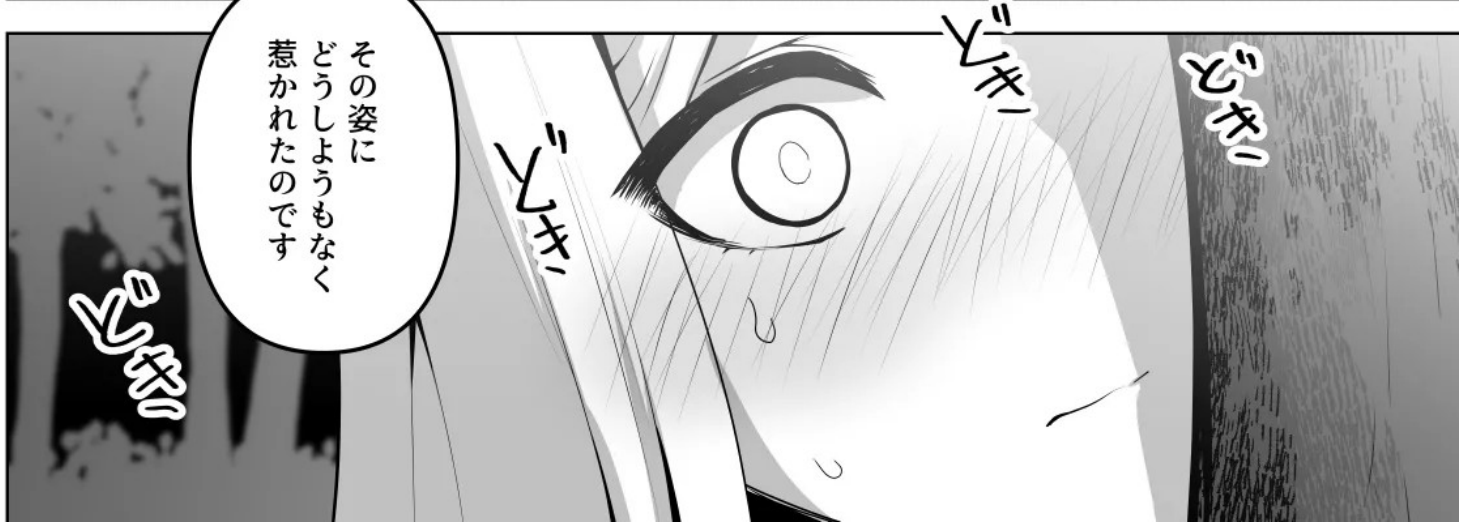
魔物の性<sup>さが</sup>について  
教科書でしか  
知らなかった私は

興味本位で  
こっそりあなたに  
付いていったのです



月光の下で  
乱れる貴方は

女神のように  
美しかった



その姿に  
どうしようもなく  
惹かれたのです

~~~~~

~~~~~

~~~~~

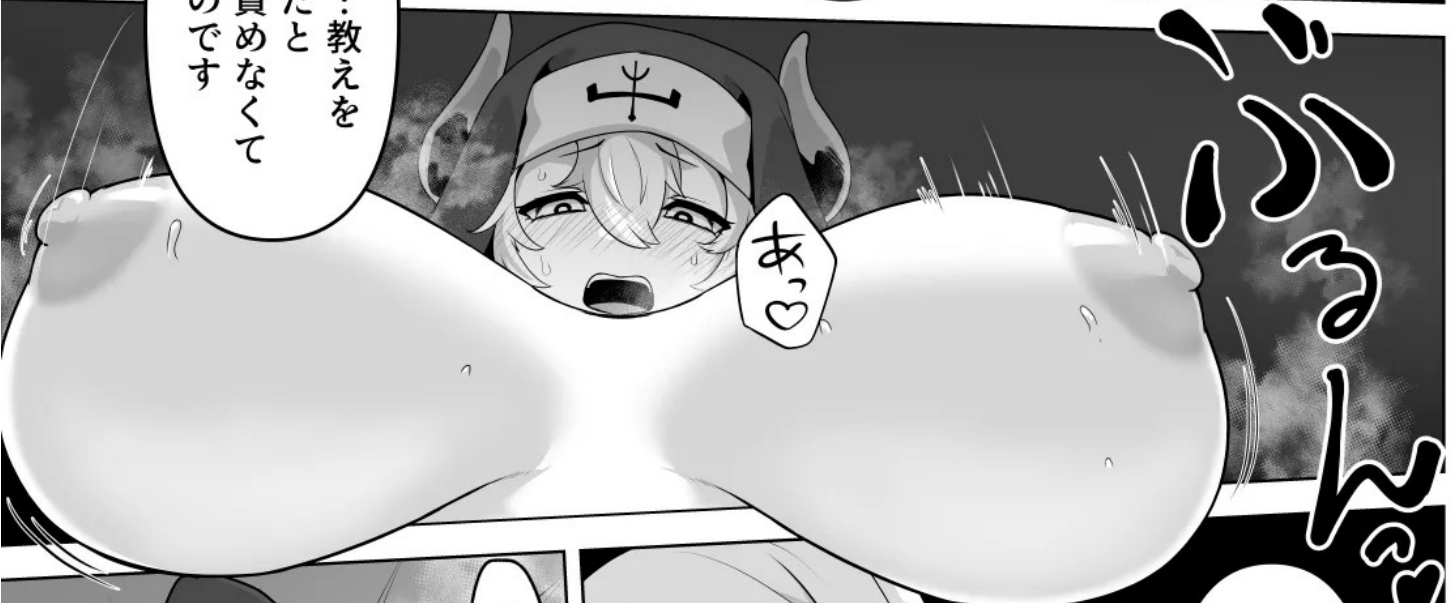
~~~~~



大丈夫ですよ  
マノア

あなたは  
私が護ります

もう…教えを  
破ったと  
己を責めなくて  
いいのです



あっ♡

ぐわんぐわん♡



これからは  
私がずうっと

共犯者になって  
あげますからね

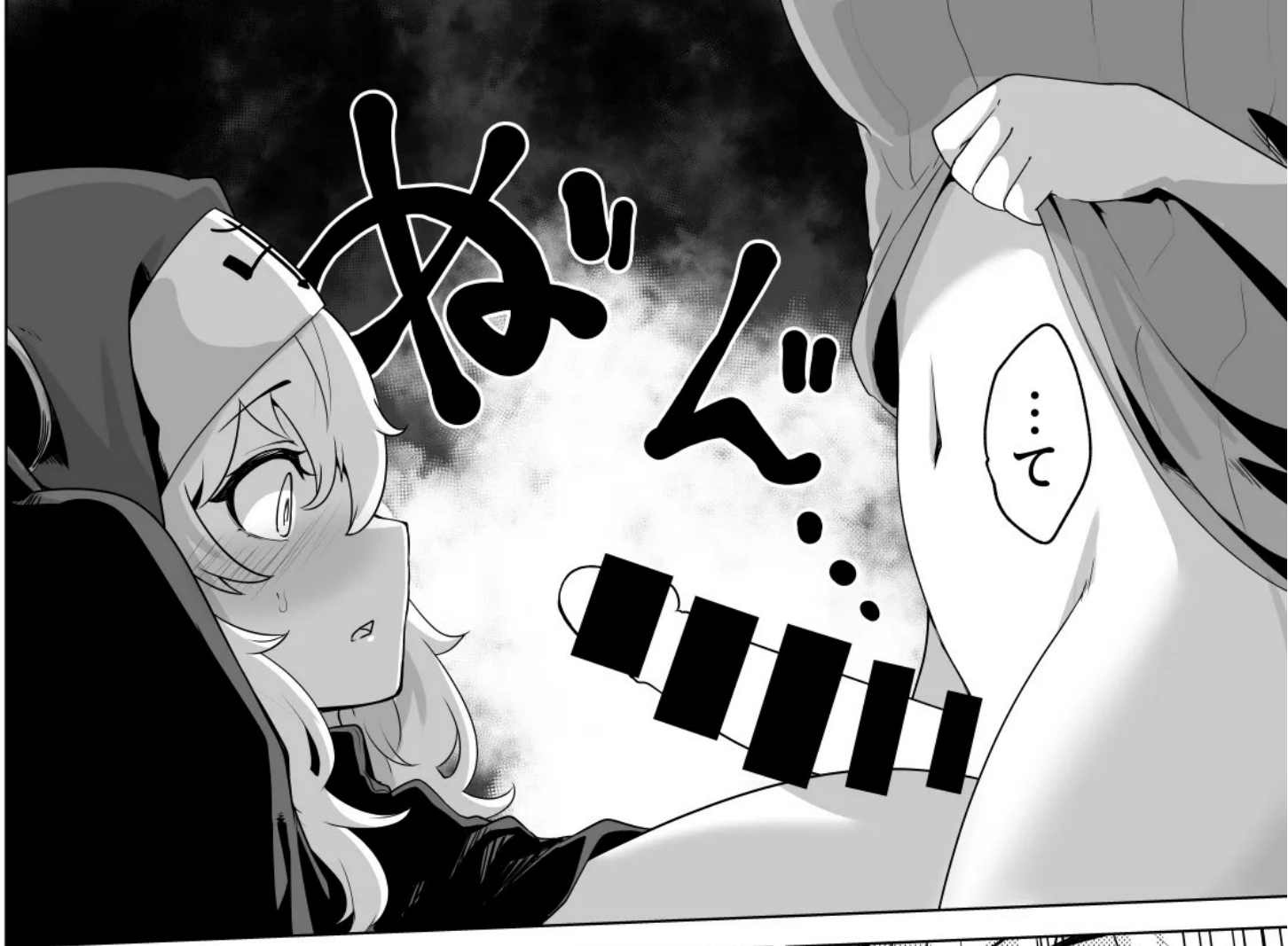
あぁ♡

きょ…

きょう…はんって

はあ

どうや…



学生時代の友人が  
呪いを受けたと  
聞きましたね

心配で様子を  
見に行ったら

その呪いを使って  
想い人と  
よろしくやっていると  
言うじゃないですか





使わない手は  
無いと思ひまして

その呪いを  
研究している  
魔女に頼み

術式に落とし込んで  
もらったのです

まあ、実際に使うのは  
今夜が初めてですが

ふ

ふ



ダメ…

ダメです  
アーちゃん…

こんなこと…

…マノア



そんな顔を  
しては  
説得力が  
ありませんが？

はっ♡

はっ♡

はっ♡



許します  
マノア

欲望のままに  
奉仕なさい



はあ  
はあ  
はあ  
そう

我慢しないで



はあ  
はあ  
はあ  
はあ  
はあ



あん  
あん  
あん

あ  
あ  
あ

ミノタウロスは  
元来忠義に厚く

あっ♡

他者に仕える  
ことを至上の喜び  
とする種族

あっ♡

満月に高まる  
性欲と合わせれば  
墮とすのは容易い…

ズッ  
ズッ  
ズッ

は…

ここまででは  
計画通り…

は…

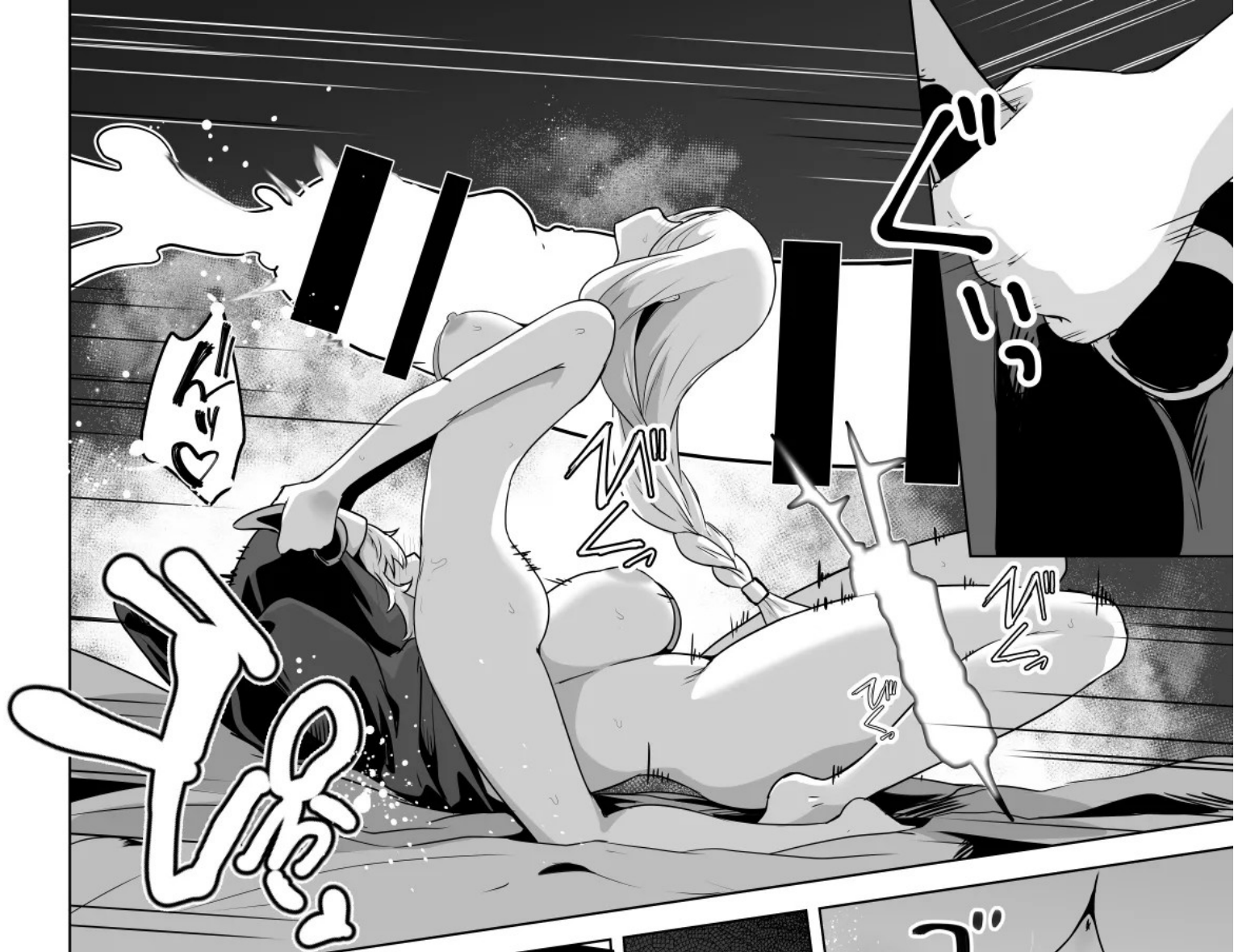
ようやく…  
ようやく手に入る

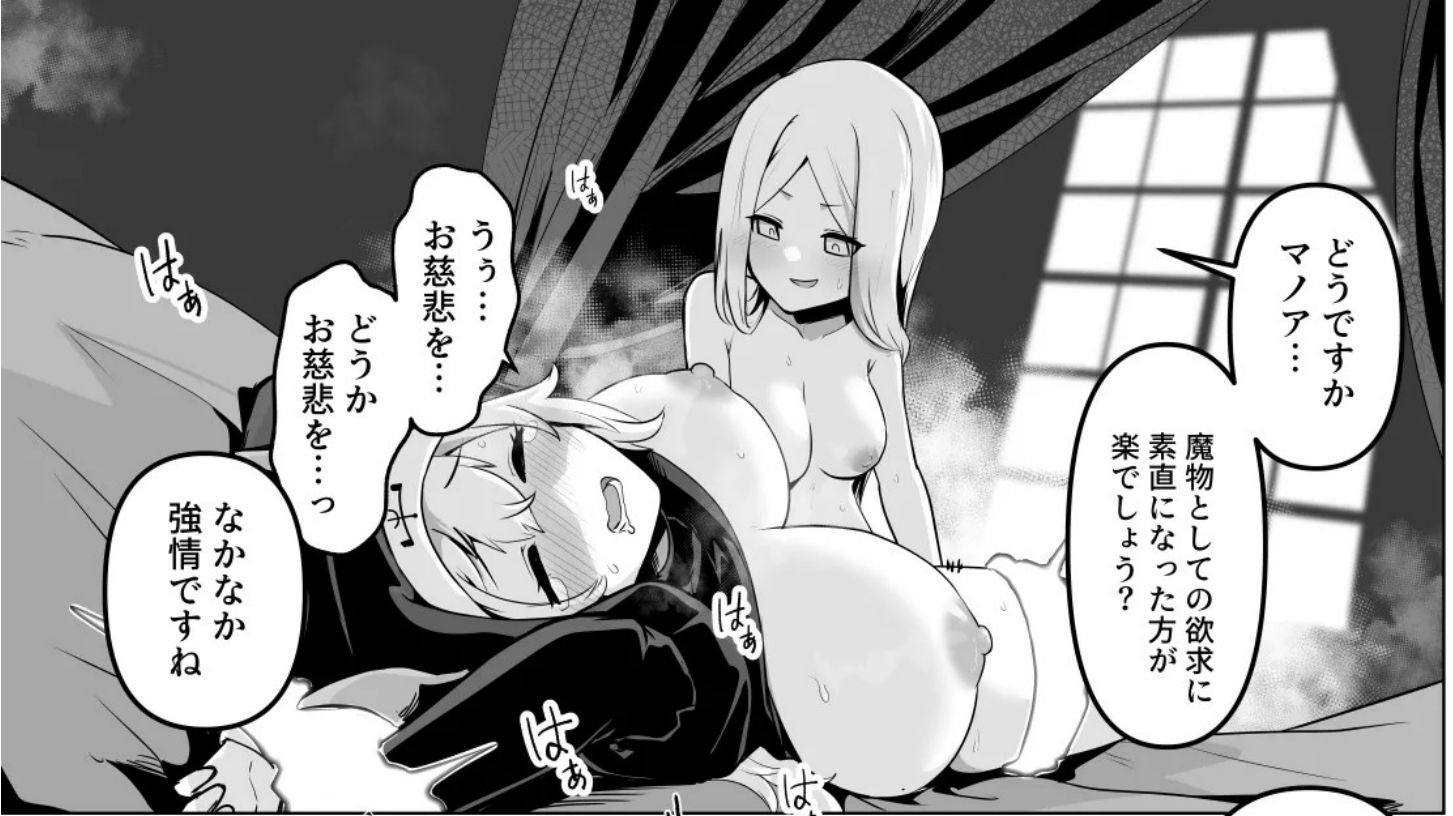
ズッ  
ズッ  
ズッ

私のマノア…!

しかしこれは…っ

ズッ  
ズッ  
ズッ





どうですか  
マノア:

魔物としての欲求に  
素直になった方が  
楽でしょう?

うう…  
お慈悲を…

どうか  
お慈悲を…っ

なかなか  
強情ですね

このままでは  
月が満ちるたびに  
貴方は自分を  
責める

破門を受け入れれば  
この肉欲は  
罪ではないのですよ



何故そこまで  
シスターという  
立場に固執  
するのですか

うう…  
だ…

だ…

アーちゃんとの  
約束…

守れなく  
なっちゃう…!

ならば  
見定めると  
しましょうか

あなたに  
シスターとしての  
資格が本当にあるか



無理に  
決まってるでしょう

こんな身体で  
修<sup>シ</sup>道<sup>ス</sup>女<sup>タ</sup>はア!!

み♡

おん  
おん

おん  
おん





そもそも!

約束を破ったのは  
貴方でしょう!?

ずっと…  
ずっと王都で  
待っていたのに!!

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん  
んんん  
んんん  
んんん



誰かに  
嫁に取られる  
のではないかと

気が気では無かった  
私の気持ちか  
わかりますか!?

んんん  
んんん  
んんん

んんん

んんん

んんん

んんん  
んんん  
んんん

んんん



私の目の届くところに置いておかねば…!

誰にもわたさない…!!

わたさない…



アーちゃん…

こんな汚れた私でも…



これからも…

一緒にいてくれるのお…?

当然でしょう

神も教えも関係ない

私だけのものになりなさい

マノア

なる…っ♡

なる…っ♡

なりますう♡

はぁ

はぁ

はぁ











オシロイ

オシロイ

オシロイ

オシロイ

♡

オシロイ

オシロイ

オシロイ

はぁ

はぁ

はぁ

オシロイ

ハハハ

ハハハ



はっ

くっ

はっ

れろれろ...

くっ

はっ

くっ

はっ

あーちゃん  
あーちゃん

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ







英従えいじゆうという  
役職があります

常に聖女の  
そばに仕え、  
守護する魔物の  
ことです

特権的に  
教会の教えに  
縛られることは  
ありません



それを…  
私に？

ええ

もに

もに

もに

しかし  
英従は教会の  
外部から  
選ぶのがしきたり



私のそばに  
置きつつ  
魔物としても  
自然に過ごすには

一度公的に  
破門するのが  
ベストだと  
判断したのです

あーちゃん…

全部  
私のために…

ぎゅーっ

大好き

もに

もに

もに



まあこれで  
いつでも  
貴方を抱ける  
わけですし

ありがとうございます  
あーちゃん

私頑張る!

むふふ



ムラムラしても  
頑張って  
我慢するね!!

私...  
あーちゃんの  
迷惑に  
ならないように



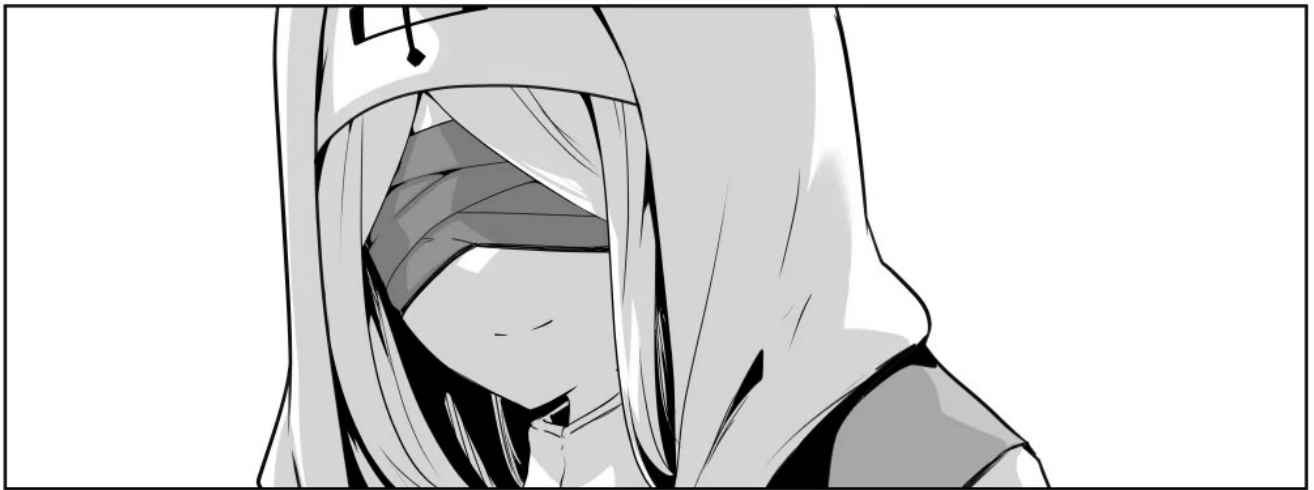
み

ちい...



それから私は  
アーちゃんに同行し  
王都へ移り住む  
事になった

先輩たちは  
私を案じて  
今回の事を  
計画してくれて  
いたらしい

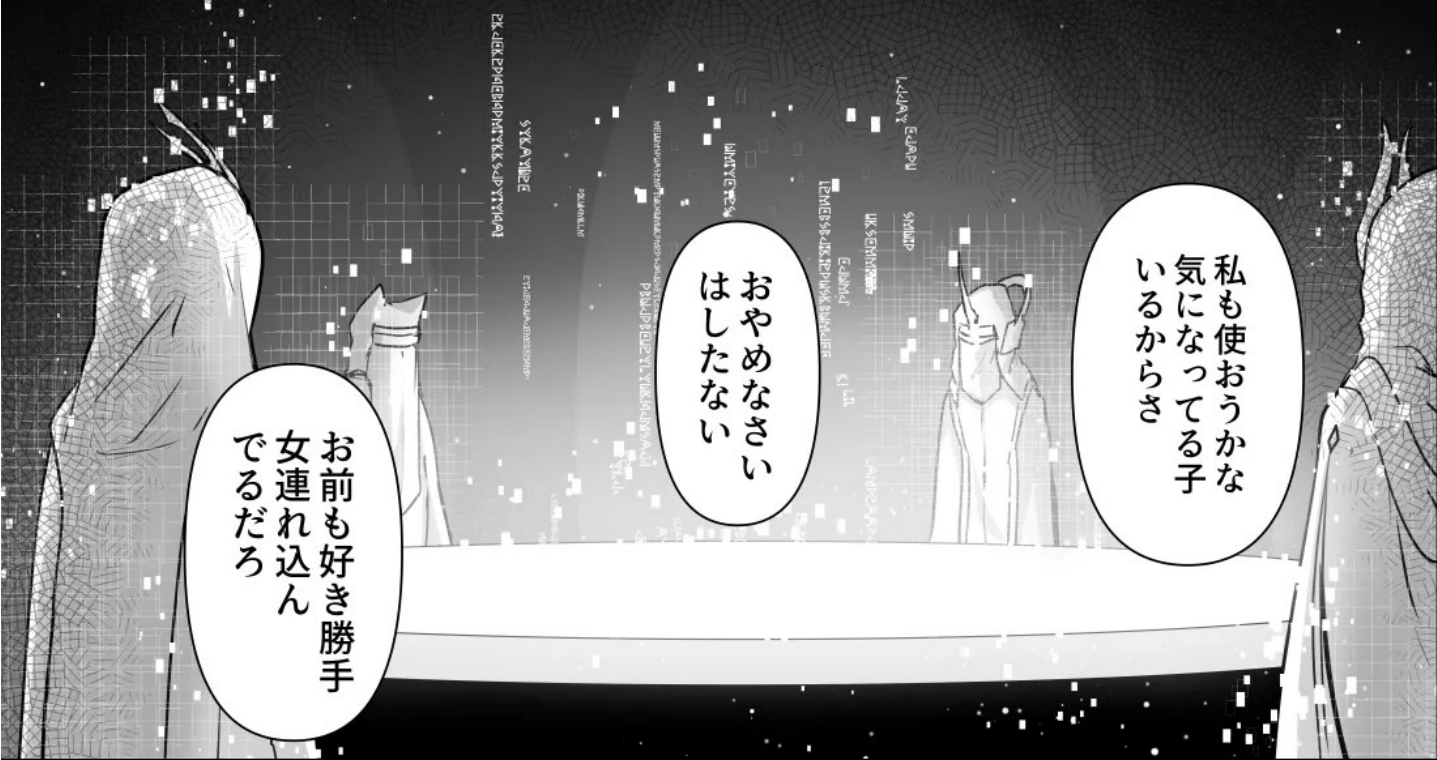


第四聖女の事？

あそれ  
私も見たー  
ミノタウロスの  
綺麗な子だったよね

聞いた？  
アナベラが  
「英従契約」を使って  
好きな女を囲ったって





私も使おうかな  
気になってる子  
いるからさ

おやめなさい  
はしたない

お前も好き勝手  
女連れ込ん  
でるだろ



は？  
私と彼女たちの  
関係はあくまで

しかし  
第四聖女も  
勉強熱心な  
ことだ

英従契約：  
あんな古い  
ルールを  
わざわざ  
持ち出すとは

まー別に  
いいんじゃない？



カミサマも  
許してくれるって

んんん

んんん

んんん



あん

はあ

あん

ため

はあ

はあ

わん わん

わん

わん

わん

愛する者を  
救ってこそその  
聖女だし

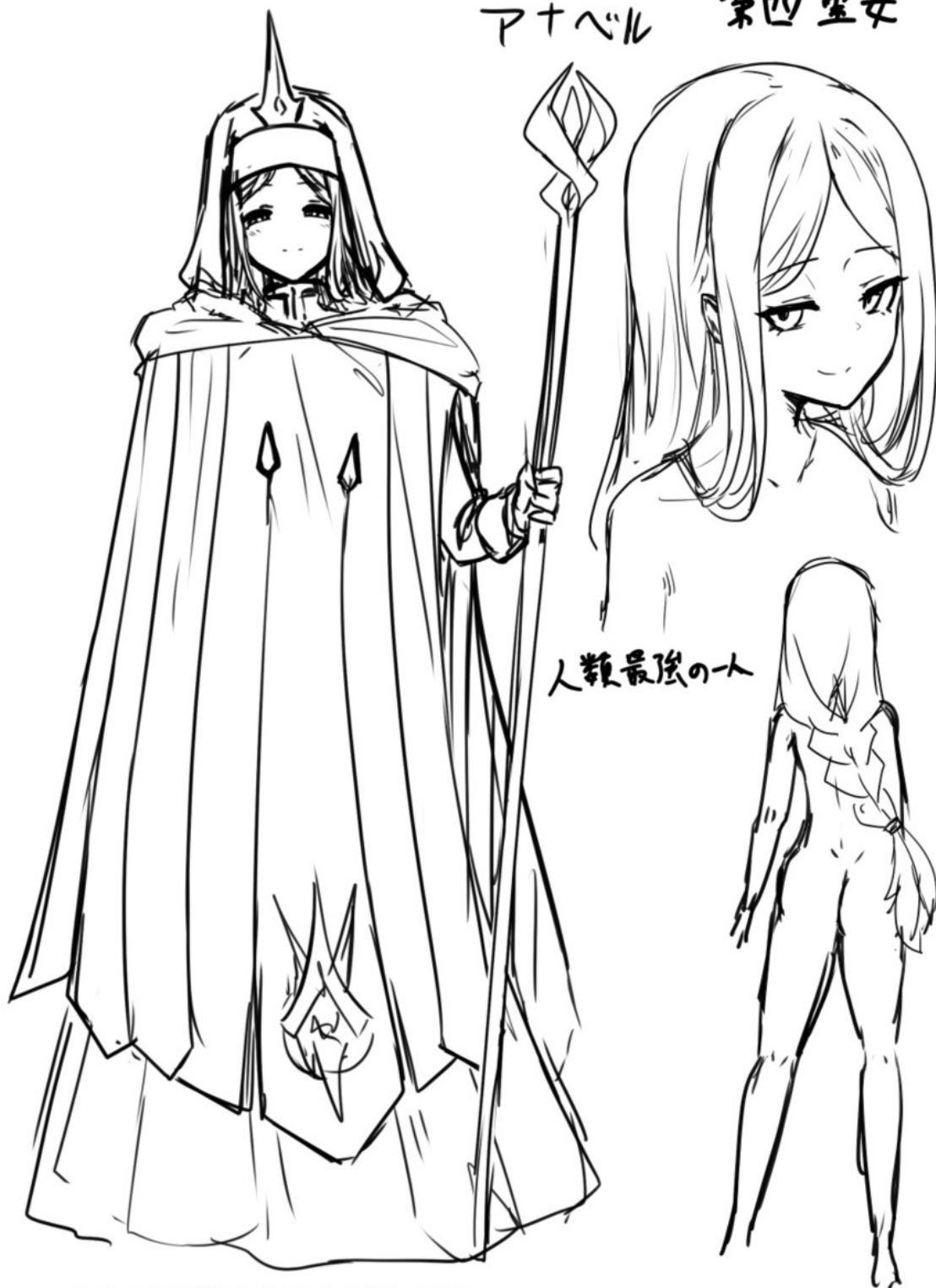
# マノア (ミノタウロス)



しっぽなし

田舎に住むミノタウロスはのシスター。  
魔物として教会に身を置くのは珍しくはないが、その中でも  
アナベラが特別優しく接してくれたことで尊敬するようになる。  
魔力耐性が低く、満月の影響を強力に受ける。  
アナベラとの約束を守るため、シスターとして清くあろうとするが、  
身体の成長とともに魔物としての欲求を抑えられなくなっていく。

# ア+ベル 第四聖女



教会の最高権力に属する第四聖女。  
魔法の才に恵まれ、聖女になる際も他の候補生を実力でボコボコにして成り上がった。  
マノアの自慰行為を見てしまい性癖が歪む。  
マノアが暮らしやすい世界を作るため、ルールを逆手に取ったうえで自分のそばに置くという計画を立てる。  
自分が欲しい物のためなら手段を選ばない性格。  
過去作のセリナとは学生時代の友人。



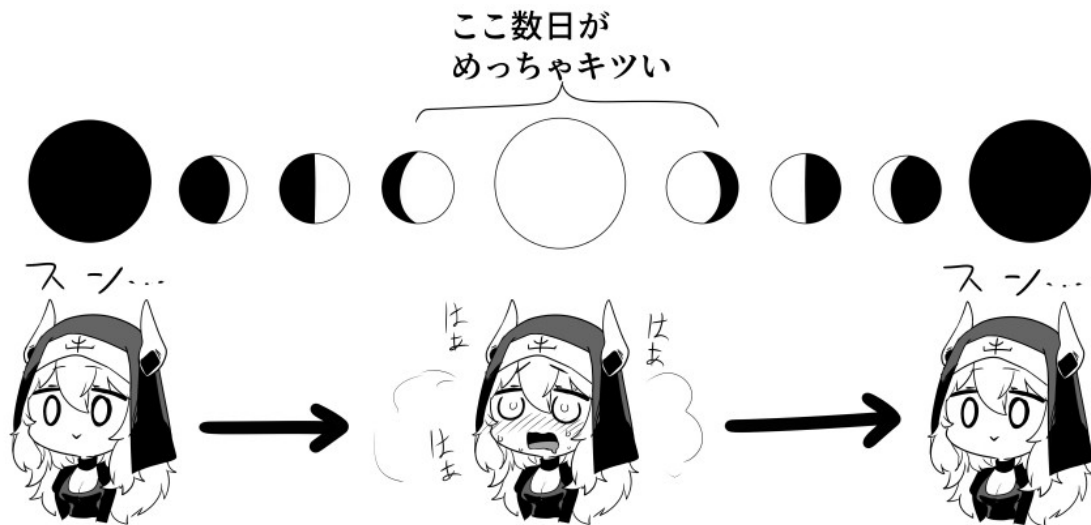


### 先輩

アナベルとマノアの先輩。  
マノアが教会の教えを破ってしまっていることを  
気にかけており、聖女となったアナベラに  
保護を求める手紙を出していた。  
ヤンキーの頭領のように口は雑だが、  
とても面倒見がよく優しい姉後肌の女性。

## 魔物の発情周期

月から降り注ぐ魔力量に比例して  
ムラムラ度が上がっていく。  
満月でピークになり  
その後緩やかに賢者モードへ移行する。



# あとがき

こんにちは おてもとと申します。  
今回も読んでいただき本当にありがとうございます！

今回は完全に箸休め的な作品として  
30ページくらいかな～なんて思いながら描いていたのですが、  
思ったより楽しくなってしまうと結局時間かかってしまいました。  
本当なら開始2ページくらいでどんちゃん始まった方が  
読者としても読みやすいとはわかっているのですがね…。

そのあたりは要精進ということで。  
私の中の「同人なんだから好きに描けよ」おじさんの声に  
従いつつ成長も楽しめればと思います。

次回は今年中にもう一本くらいは出す予定ですので  
楽しみに待っていてくださると嬉しいです。

今後とも応援よろしくお願いします！